

◆◇—— 感染症に関する情報 ——◇◆

【国内で麻疹（はしか）の感染事例が報告されています】

○海外からの輸入例を契機とした感染伝播事例が報告されています。年度末で人の動きが多くなる時期です。医療機関等においては、「医療機関での麻疹対応ガイドライン（第7版）」等を参考に職員のMR ワクチン接種歴や抗体価の確認とリスト化、発熱や発しんを呈する患者を診察する際は、麻疹を意識した診療（問診による患者状況把握、動線の工夫等による感染防止等）をお願いいたします。○市町においては、教育委員会、保育所、幼稚園等と連携し、第2期接種対象者（小学校就学前1年間）の保護者等に対するワクチン接種勧奨について、更なる取組の強化をお願いいたします。

麻疹の累積届出の推移（感染症発生動向調査システムより）

年	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6※
茨城県	17	0	0	0	1	0
全国	744	13	6	6	28	11

※R6年は、10週（3/4～3/10）までの累積

★当所感染症ページ（「医療機関での麻疹対応ガイドライン第7版」や院内掲示用の注意喚起ポスターを掲載しています。）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chikuho/hoken/shimohc/sodan/sodan-kansensyou.html>

★医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版

[http://www.kankyokansen.org/modules/publication/index.php?content\\_id=17](http://www.kankyokansen.org/modules/publication/index.php?content_id=17)

★麻疹累積報告数の推移、週別麻疹報告数、都道府県別病型別麻疹報告数等（国立感染症研究所のHP）

<https://www.niid.go.jp/niid//images/idsc/disease/measles/2024pdf/meas24-10.pdf>

★「麻疹（はしか）の感染事例が報告されています」（厚労省HPリーフレット）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001131749.pdf>

★「麻疹（はしか）はワクチン接種が予防に有効です!」（厚労省HPリーフレット）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001093670.pdf>

【定点医療機関からの報告（定点当たり）数】

○管内の感染性胃腸炎の報告数は、依然として全県の報告数と比べても高い数値で推移しております。2月には管内障害者支援施設において集団発生があったほか、3月に入ってからもいくつかの管内高齢者施設において複数名の感染報告があり、感染者の検体からノロウイルスGⅡが検出されています。引き続き手洗いの徹底（手指消毒剤（アルコール）は効きにくいと言われています。）のほか、吐物処理物品の準備、有効な消毒薬である次亜塩素酸ナトリウムを使用したトイレやドアノブなど汚染された箇所の拭き取り、吐物処理の手順の確認・訓練等をお願いいたします。（R6年1月号にて掲載したリーフレット ノロウイルスに注意 を再度ご確認ください。）

※感染性胃腸炎をはじめ、同一の感染症が疑われる者が10名以上発生した場合、保健所に報告をお願いいたします。

10名に達していない場合であっても、必要に応じてご相談ください。

○管内のインフルエンザの報告数は減少傾向にあり、3月7日（金）には、県全体のインフルエンザの流行警報が解除されましたが、第11週（速報値）は13.09と大きく増加しました。また、インフルエンザによる学級閉鎖措置も複数校で発生が見られます。感染症情報センターによれば、昨年12月以降インフルエンザA型に加え、インフルエンザB型が検出されているとのことですので、引き続き飛沫感染対策（咳エチケット）及び接触感染予防策（手洗い、高頻度接触面をアルコールで拭き掃除など）を強化しましょう。

報告週	インフルエンザ	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	
				管内	（参考）全県
7週（2/12～2/18）	7.36	2.00	0.57	8.71	6.19
8週（2/19～2/25）	6.73	2.00	0.14	5.43	4.99
9週（2/26～3/3）	5.64	2.00	0.57	6.57	4.69
10週（3/4～3/10）	8.45	3.57	0.14	5.14	4.53
11週（3/11～3/17）※速報値	13.09	3.71	0.29	5.86	—

【全数把握感染症の発生届（管内分）】

報告週	二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症
7週 (2/12~2/18)	—	—	レジオネラ症Ⅰ	—
8週 (2/19~2/25)	結核Ⅰ	腸管出血性大腸菌感染症Ⅰ	—	—
9週 (2/26~3/3)	結核Ⅱ	—	レジオネラ症Ⅰ	梅毒Ⅰ
10週 (3/4~3/10)	—	腸管出血性大腸菌感染症Ⅰ	レジオネラ症Ⅰ	百日咳Ⅰ
11週 (3/11~3/17)	—	—	—	CRE※Ⅰ

※カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）感染症

★茨城県感染症流行情報（2024年 第10週）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/weekly/documents/2024idwr10.pdf>

★茨城県インフルエンザ流行情報 2023-2024 年(第 27 報)

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2023sflureport27.pdf>

★インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等措置・集団発生等の状況について（第27報）

[https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2023\\_24flu27.pdf](https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2023_24flu27.pdf)

★茨城県感染症流行情報月報（2023年2月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/std/documents/2024mrp02.pdf>

★茨城県衛生研究所における病原体検出情報（2023年1月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/microbe/documents/202401kensyutu.pdf>

<COVID-19>

- 管内の定点あたり報告数は、8週6.91、9週7.36、10週5.64と減少傾向にあり、11週には3.45（速報値）まで低下しております。また、管内医療機関の一日当たりの入院患者数（G-MISより算出）についても、8週76人から9週42.2人、10週37.8人、11週24.4人（速報値）と大幅な減少が見られるなど、第10波の前の水準まで低下が見られます（管内の定点あたり報告数及び管内医療機関の一日当たりの入院患者数については別表グラフを併せてご覧ください。）。
- 管内でのクラスターの発生件数（2月19日～3月18日）は、医療機関2、高齢者施設6、障害者施設2、月別で見ますと下表のとおりです。2月は、年度内では3番目に多い状況ではありましたが、現在は徐々に終息に向かっております。

R5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
医療機関	0	2	1	0	0	2	1	1	1	5	3
高齢者施設	10	2	5	7	14	1	0	1	5	7	7
障害者施設	0	1	1	0	4	4	1	0	1	2	3
計	10	5	7	7	18	7	2	2	7	14	13

- 新型コロナウイルス感染症に係る特例的な措置（治療薬に係る公費負担等）は、予定どおり令和6年3月末をもって終了し、通常の医療提供体制へ移行することとなります。各医療機関においては取り扱いに遺漏のないようご対応願います。

★令和6年4月1日からの変更について（県感染症対策課ホームページ）

[https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/idwr/influ\\_taisaku/5ruihenko.html](https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/idwr/influ_taisaku/5ruihenko.html)

- 併せまして、新型コロナウイルス感染症の5類移行以降、保健所において発行をしてきた、「療養証明書」についても、令和6年3月末をもって終了します。保険請求等で必要な場合は、年度内に申請されるよう周知いただきますようお願いいたします。

★新型コロナウイルス感染症に罹患したことを証明する書類の発行終了について（当所ホームページ）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chikuho/shimohc/>